

# 平成28年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	V-2	指定団体等の指定状況		区分		平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)																																																																																																																																																	
					財政健全化等	×	歳入総額	8,100,356	8,191,905	実質収支比率	8.3	13.5																																																																																																																																																			
市町村名	広川町		地方交付税種地	2-3	財源超過	×	歳出総額	7,662,587	7,533,833	経常収支比率	89.8	83.6	(94.8)	(89.4)																																																																																																																																																	
					首都	×	歳入歳出差引	437,769	658,072	(※1)																																																																																																																																																					
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	64,087	56,890	標準財政規模	4,501,494	4,468,070																																																																																																																																																			
人口	27年国調(人)	20,183	産業構造(※5)		中部	×	実質収支	373,682	601,182	財政力指数	0.60	0.57	13.0	12.9																																																																																																																																																	
	22年国調(人)	20,253			過疎	×	単年度収支	-227,500	217,384	公債費負担比率	13.0																																																																																																																																																				
	増減率(%)	-0.3			山振	×	積立金	18,132	3,617	健全化判断比率																																																																																																																																																					
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	19,882	第1次	27年国調	1,099	22年国調	1,209	低開発	○	積立金取崩し額	-	-	実質赤字比率	-																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)	19,707		2.250	2.465	指数表選定	○	実質単年度収支	-209,368	221,001	連結実質赤字比率	-	-	実質公債費比率	6.3																																																																																																																																																
	28.01.01(人)	19,995	第2次	12.1	12.8			基準財政収入額	2,314,641	2,103,568	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																				
	うち日本人(人)	19,841		24.8	26.0			基準財政需要額	3,637,741	3,591,878																																																																																																																																																					
	増減率(%)	-0.6	第3次	5,716	5,793			標準税収入額等	2,948,054	2,672,800																																																																																																																																																					
	うち日本人(%)	-0.7		63.1	61.2			経常経費充当一般財源等	3,966,931	3,900,985																																																																																																																																																					
	面積(km <sup>2</sup> )	37.94																																																																																																																																																													
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	532																																																																																																																																																														
世帯数(世帯)	7,007																																																																																																																																																														
職員の状況																																																																																																																																																															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	7,222,718	7,017,139																																																																																																																																																				
	市区町村長	1	7,667		一般職員	106	331,250	3,125	うち公的資金	6,812,364	6,556,799																																																																																																																																																				
	副市区町村長	1	6,430		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	739,451	693,370																																																																																																																																																				
	教育長	1	5,950		うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																				
	議会議長	1	3,240		教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																				
	議会副議長	1	2,580		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	2,014,567	1,936,435																																																																																																																																																				
	議会議員	11	2,500		合計	106	331,250	3,125	減債基金	170,029	145,556																																																																																																																																																				
						ラスパイレシ指数			96.9	その他特定目的基金	1,685,246	1,562,036																																																																																																																																																			
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>事業会計の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法通)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法非通)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>関係する一部事務組合等一覧 項番</td> <td>組合等名</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧 項番</td> <td>団体名</td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(4)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(6)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(7)</td> <td>下水道事業特別会計</td> <td>(8)</td> <td>福岡県南広域水道企業団(用水供給事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>住宅新築資金等貸付特別会計</td> <td>(5)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>福岡県自治振興組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>広川防災ダム管理特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>福岡県介護保険広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>八女西部広域事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>公立八女総合病院企業団(病院及び介護老人保健施設事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法通)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非通)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(7)	下水道事業特別会計	(8)	福岡県南広域水道企業団(用水供給事業会計)				(2)	住宅新築資金等貸付特別会計	(5)	後期高齢者医療特別会計					(9)	福岡県自治振興組合(一般会計)				(3)	広川防災ダム管理特別会計							(10)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)												(11)	福岡県介護保険広域連合(一般会計)												(12)	福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)												(13)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)												(14)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)												(15)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)												(16)	八女西部広域事務組合(一般会計)												(17)	公立八女総合病院企業団(病院及び介護老人保健施設事業会計)				
	一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法通)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非通)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																	
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(7)	下水道事業特別会計	(8)	福岡県南広域水道企業団(用水供給事業会計)																																																																																																																																																						
(2)	住宅新築資金等貸付特別会計	(5)	後期高齢者医療特別会計					(9)	福岡県自治振興組合(一般会計)																																																																																																																																																						
(3)	広川防災ダム管理特別会計							(10)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)																																																																																																																																																						
								(11)	福岡県介護保険広域連合(一般会計)																																																																																																																																																						
								(12)	福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)																																																																																																																																																						
								(13)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)																																																																																																																																																						
								(14)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)																																																																																																																																																						
								(15)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)																																																																																																																																																						
								(16)	八女西部広域事務組合(一般会計)																																																																																																																																																						
								(17)	公立八女総合病院企業団(病院及び介護老人保健施設事業会計)																																																																																																																																																						

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入金額	構成比	超過課税分
地方税	2,374,473	29.3	2,374,473	56.8	普通税	2,374,473	100.0	-
地方譲与税	74,827	0.9	74,827	1.8	法定普通税	2,374,473	100.0	-
利子割交付金	1,733	0.0	1,733	0.0	市町村民税	890,505	37.5	-
配当割交付金	5,671	0.1	5,671	0.1	個人均等割	32,676	1.4	-
株式等譲渡所得割交付金	3,782	0.0	3,782	0.1	所得割	698,399	29.4	-
地方消費税交付金	355,959	4.4	355,959	8.5	法人均等割	45,094	1.9	-
ゴルフ場利用税交付金	6,425	0.1	6,425	0.2	法人税割	114,336	4.8	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,241,609	52.3	-
自動車取得税交付金	19,915	0.2	19,915	0.5	うち純固定資産税	1,241,609	52.3	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	63,966	2.7	-
地方特例交付金	12,290	0.2	12,290	0.3	市町村たばこ税	178,393	7.5	-
地方交付税	1,472,416	18.2	1,320,107	31.6	鉱産税	-	-	-
普通交付税	1,320,107	16.3	1,320,107	31.6	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	152,309	1.9	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	-	-	-
(一般財源計)	4,327,491	53.4	4,175,182	99.8	法定目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	3,712	0.0	3,712	0.1	入湯税	-	-	-
分担金・負担金	149,367	1.8	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	9,448	0.1	2,592	0.1	都市計画税	-	-	-
手数料	34,203	0.4	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	1,137,065	14.0	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	647,392	8.0	-	-	合計	2,374,473	100.0	-
財産収入	24,185	0.3	2,397	0.1				
寄附金	16,402	0.2	-	-				
繰入金	191,134	2.4	-	-				
繰越金	598,072	7.4	-	-				
諸収入	159,852	2.0	11	0.0				
地方債	802,033	9.9	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	233,333	2.9	-	-				
歳入合計	8,100,356	100.0	4,183,894	100.0				

区分		平成28年度	平成27年度
徴収率(%)	現・計	99.0	97.0
	年	99.0	97.2
	年	98.9	96.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	916,948	実質収支	-132,976
下水道	125,272	再差引収支	-182,317
病院	83,161	加入世帯数(世帯)	2,740
上水道	19,650	被保険者数(人)	5,140
工業用水道	-	被保険者	105
国民健康保険	196,372	1人当り	133
その他	492,493	保険税(料)収入額	308
		国庫支出金	
		保険給付費	

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	91,301	1.2	-	91,301	
総務費	1,057,049	13.8	38,711	913,805	
民生費	2,662,743	34.7	10,839	1,211,035	
衛生費	547,828	7.1	16,614	493,341	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	323,175	4.2	172,033	142,663	
商工費	139,753	1.8	23,298	51,936	
土木費	649,856	8.5	417,793	337,572	
消防費	488,646	6.4	206,773	278,383	
教育費	1,004,108	13.1	479,726	543,665	
災害復旧費	23,725	0.3	-	9,886	
公債費	674,403	8.8	-	673,756	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	7,662,587	100.0	1,365,787	4,747,343	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	3,355,884	43.8	2,076,691	2,067,247	46.8
人件費	1,092,398	14.3	996,397	987,083	22.3
うち職員給	576,842	7.5	517,608	-	-
扶助費	1,589,083	20.7	406,538	406,408	9.2
公債費	674,403	8.8	673,756	673,756	15.3
元利償還金	674,403	8.8	673,756	673,756	15.3
内 うち元金	596,454	7.8	595,807	595,807	13.5
訳 うち利子	77,949	1.0	77,949	77,949	1.8
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	2,917,191	38.1	2,427,887	1,899,684	43.0
物件費	783,978	10.2	620,936	580,863	13.1
維持補修費	9,964	0.1	8,275	8,275	0.2
補助費等	839,382	11.0	738,072	659,541	14.9
うち一部事務組合負担金	456,174	6.0	427,476	403,806	9.1
繰出金	814,137	10.6	684,825	601,224	13.6
積立金	356,949	4.7	325,998	-	-
投資・出資金・貸付金	112,781	1.5	49,781	49,781	1.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,389,512	18.1	242,765	-	-
うち人件費	33,223	0.4	33,223	-	-
内 普通建設事業費	1,365,787	17.8	232,879	-	-
うち補助	612,241	8.0	57,695	-	-
うち単独	731,943	9.6	169,396	-	-
災害復旧事業費	23,725	0.3	9,886	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	7,662,587	100.0	4,747,343	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成28年度 福岡県広川町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	8,093	7,658	435	371	191	7,223	
2 住宅新築資金等交付特別会計	2	0	2	2	-	-	
3 広川防災ダム管理特別会計	12	11	1	1	7	-	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							

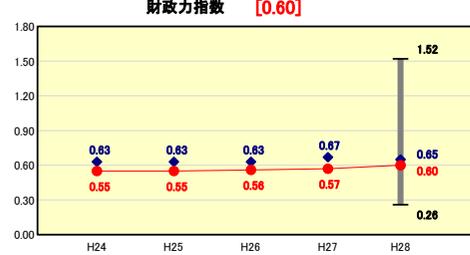
### (3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	19,882	人(H29.1.1現在)	実 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	19,707	人(H29.1.1現在)	連結実 赤 字 比 率	-	%
面積	37.94	km <sup>2</sup>	実 公 債 費 比 率	6.3	%
歳入総額	8,100,356	千円	得 来 負 担 比 率	0.4	%
歳出総額	7,662,587	千円	市 町 村 類 型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2	
実質収支	373,682	千円	( 年 度 毎 )	H27 V-1 H28 V-2	
標準財政規模	4,501,494	千円			
地方債現在高	7,222,718	千円			



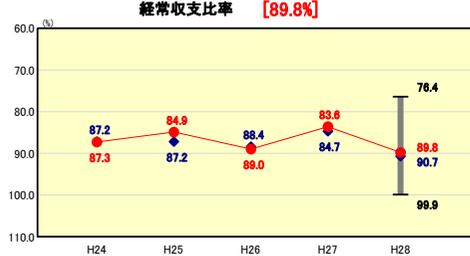
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

#### 財政力



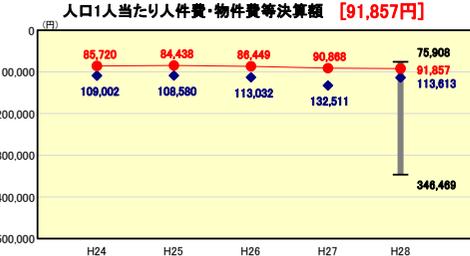
財政力指数の分析欄  
 類似団体内平均値を下回っているが前年度と比較すると0.03ポイント改善した。主な要因は増税の通年化、地方消費税の増が単年度財政力指数を0.07ポイント押し上げた。  
 今後一層地方創生事業による魅力あるまちづくりを展開しつつ、行政効率化に努めることにより、財政健全化を図る。

#### 財政構造の弾力性



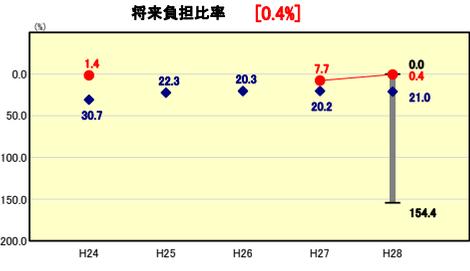
経常収支比率の分析欄  
 前年度は類似団体平均を下回る数値であったが、すべての費目において悪化しており6.2ポイント引き上げることとなった。特に一般職非常勤職員に係る人件費の増、自立支援、乳幼児医療等の拡充による扶助費の増が影響している。  
 引き続き、義務的経費の抑制に努める。

#### 人件費・物件費等の状況



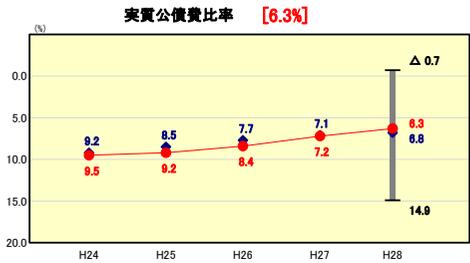
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄  
 類似団体と比較して人件費、物件費等が低くなっているのは、常備消防、ごみ処理、し尿処理を一部事務組合で行っていることによるものであるが一般職非常勤職員の人件費は増加しており、また物件費においても少人数学級の導入により嘱託、臨時職員の配置が影響し増加している。  
 今後も職員の定数管理を適切に行いコスト削減に努める。

#### 将来負担の状況



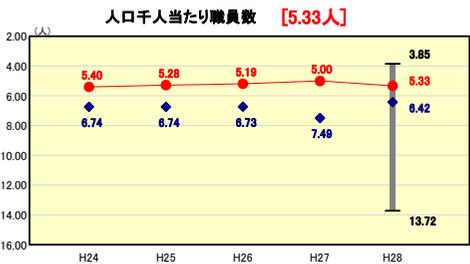
将来負担比率の分析欄  
 地方債の残高は増加し将来負担額は増となったが、充当可能基金の増や交付税算入見込額の増により充当可能財源等が増加したため比率は減少した。  
 引き続き、公共施設等の老朽化によりその維持管理・更新費用が潜在的な将来負担として存在するため、今後も事業実施の適正化を図り、財政の健全化に努める。

#### 公債費負担の状況



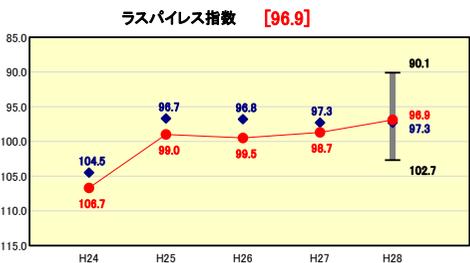
実質公債費比率の分析欄  
 一時的な普通建設事業費が要因で元利償還金等は増加し実質的な公債費負担額は増加したが、税収等の増により比率は改善した。  
 今後庁舎建設、小学校屋内運動場改築事業等公債費を押し上げる要因となる事業計画が多々存在する。  
 これから長期にわたりその影響が出てくると考えられ、町の総合計画目標を達成するため、基金運用を含め計画的な財源の確保に努める。

#### 定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄  
 人口千人当たりの職員数は、前年度より0.33人増加したことにより類似団体内平均値に近づき1.09人の差となった。  
 職員数が少ない要因としては、一部事務組合に加入していることや各種事業の民営化を進めてきたことによるものである。  
 今後も民間委託の推進、職員数の適正化を維持していく反面、一般非常勤職員や臨時職員が増加傾向にあるため注視して運営していく必要がある。

#### 給与水準 (国との比較)



ラスパイレズ指数の分析欄  
 本年度類似団体内平均値を下回った理由については経験年数階層の変動によるもので適正な定員管理を行っているもの高水準を推移している。  
 今後も国の給与体系に準じた適正化を進めていくことが必要である。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

福岡県広川町

## 経常収支比率の分析

人口	19,882	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	19,707	人(H29.1.1現在)	運実質赤字比率	-	%
面積	37.94	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.3	%
歳入総額	8,100,356	千円	将来負担比率	0.4	%
歳出総額	7,662,587	千円			
実質収支	373,682	千円	市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2	
標準財政規模	4,501,494	千円	(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2	
地方債現在高	7,222,718	千円			



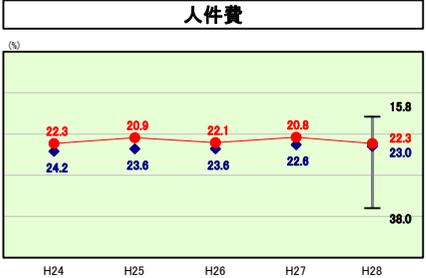
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**類似団体内順位** 21/100 **全国平均** 14.8 **福岡県平均** 14.6

**物件費の分析欄**

地方創生関連事業の開始に伴う増、小中学校非常勤講師臨時職、少人数学級講師嘱託賃金の増により数値の引上げに影響した。地方創生関連事業については本町も注力しており魅力あるまちづくりを展開しつつも、引き続き経費抑制に努めていく。



**類似団体内順位** 43/100 **全国平均** 23.7 **福岡県平均** 21.2

**人件費の分析欄**

比率としては類似団体内平均値よりも低くなっており定員管理により職員給の減となったが、一般職非常勤職員人件費の増の影響が数値を押し上げた形となった。今後も非常勤・臨時職員等の増加が見込まれるため、引き続き行財政改革への取り組みを通じて人件費の抑制に努める。



**類似団体内順位** 63/100 **全国平均** 10.4 **福岡県平均** 10.9

**補助費等の分析欄**

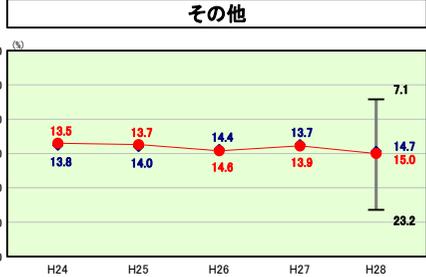
一部事務組合負担金について設備拡充により年々増加しており、本町の財政の中でも負担の多い部分になっている。本年度も増加したことで数値に影響しているが、組合への効率化の働き掛けや、各種団体への補助金等については一定の役割を果たしたのを見直すことで抑制に努める。



**類似団体内順位** 62/100 **全国平均** 12.4 **福岡県平均** 14.2

**扶助費の分析欄**

障害者福祉、乳幼児等医療、学校就学支援等の増により数値を押し上げる形となった。全国的に見ても福祉分野については拡充し続けており、本町においても平成25年度以降増加をたどっている。今後も増加していくことが見込まれるため、税收等の財源確保を徹底し、財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



**類似団体内順位** 51/100 **全国平均** 13.5 **福岡県平均** 13.4

**その他の分析欄**

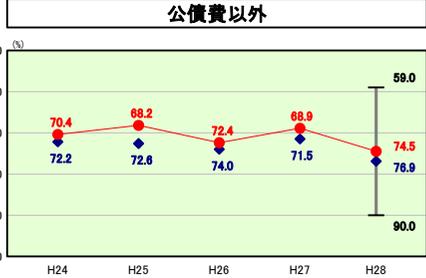
類似団体内平均値とほぼ足並みそろえて増減しているが本年度については1.1ポイント悪化した。老朽化した施設の維持管理や今後計画される施設建設のための基金積立、特別会計への繰出等が増加の主な要因となっている。今後も計画的な維持管理、更新の実施、特別会計への繰出金の適正化に努める。



**類似団体内順位** 71/100 **全国平均** 17.7 **福岡県平均** 20.2

**公債費の分析欄**

財政指針を定め計画的に起債を発行してきたが、昨年度に引き続き小学校建設事業、防災行政無線デジタル化整備事業、道路整備事業等の普通建設事業が継続しており若干数値を押し上げる結果となった。今後についても観光拠点施設建設、小学校屋内運動場建設、庁舎建設等の財政に大きな影響を与える普通建設事業が予定されているができる限りの起債の抑制に努める。



**類似団体内順位** 25/100 **全国平均** 74.8 **福岡県平均** 74.3

**公債費以外の分析欄**

類似団体内平均値より下回ったが、公債費以外の経常収支比率についてはすべての項目において増加しており5.6ポイントの増と大きく押し上げた。財源の確保は必要不可欠で、大部分を占める人件費、扶助費等を抑制していくよう行財政改革を継続し、財政指針、財政計画等をもとに計画的な財政運営が求められる。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

福岡県広川町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,092,398	54,944	55,845	▲ 1.6
賃金(物件費)	50,090	2,519	5,607	▲ 55.1
一部事務組合負担金(補助費等)	193,604	9,738	8,384	▲ 16.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	147	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	176	9	6	50.0
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	41,680	2,096	2,653	▲ 21.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	33,223	1,671	1,240	▲ 34.8
▲退職金	▲ 93,266	▲ 4,691	▲ 5,294	▲ 11.4
合計	1,317,905	66,286	68,586	▲ 3.4

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.33	6.42	▲ 1.09
ラスパイレズ指数	96.9	97.3	▲ 0.4

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

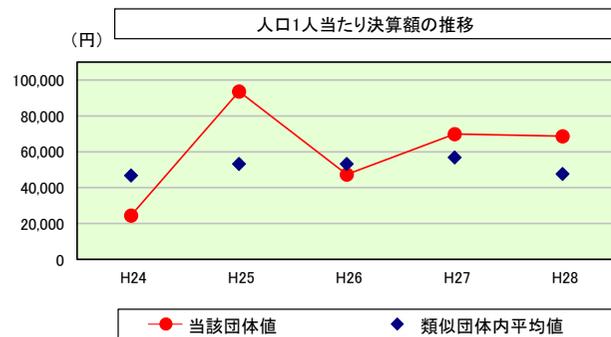


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	674,403	33,920	31,128	9.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	99,213	4,990	9,784	▲ 49.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	69,335	3,487	2,611	33.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	16,740	842	1,177	▲ 28.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 647	▲ 33	▲ 3,247	▲ 99.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 608,426	▲ 30,602	▲ 28,558	7.2
合計	250,618	12,605	12,895	▲ 2.2

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H24	484,705	24,484	▲ 35.6	46,819	9.3	▲ 44.9
うち単独分	277,628	14,024	▲ 10.3	24,121	9.5	▲ 19.8
H25	1,862,446	93,623	282.4	53,270	13.8	268.6
うち単独分	576,323	28,971	106.6	24,316	0.8	105.8
H26	940,138	47,410	▲ 49.4	53,292	0.0	▲ 49.4
うち単独分	435,881	21,981	▲ 24.1	28,900	18.9	▲ 43.0
H27	1,398,848	69,960	47.6	56,894	6.8	40.8
うち単独分	744,592	37,239	69.4	32,548	12.6	56.8
H28	1,365,787	68,695	▲ 1.8	47,738	▲ 16.1	14.3
うち単独分	731,943	36,814	▲ 1.1	24,937	▲ 23.4	22.3
過去5年間平均	1,210,385	60,834	48.6	51,603	2.8	45.8
うち単独分	553,273	27,806	28.1	26,964	3.7	24.4

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

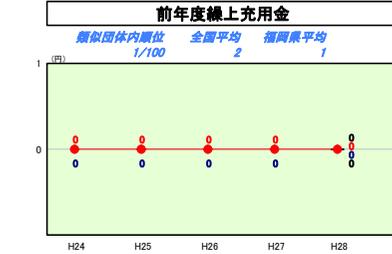
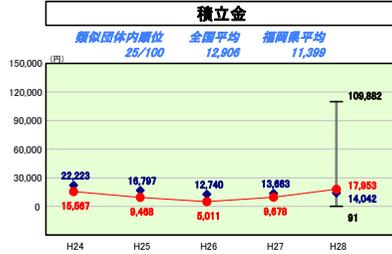
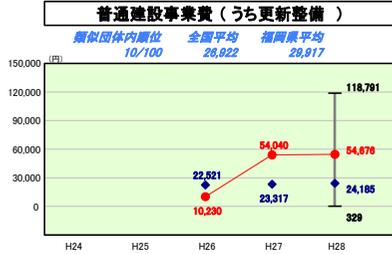
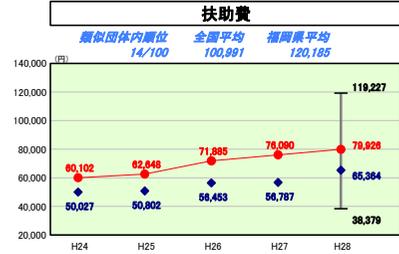
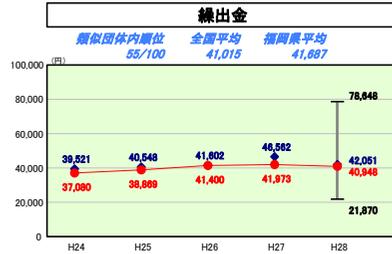
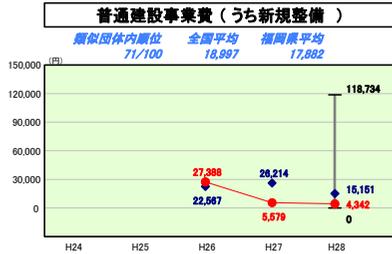
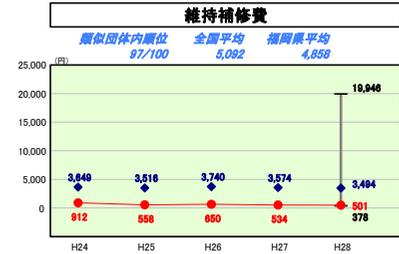
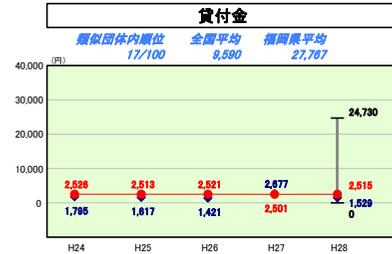
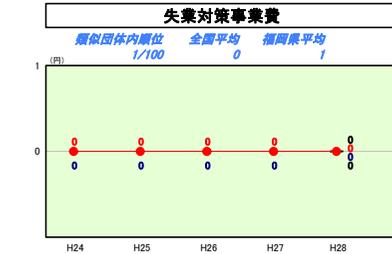
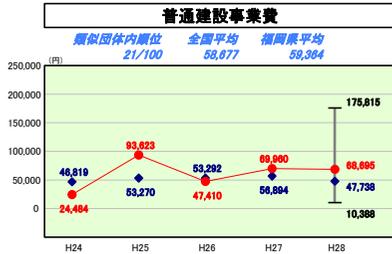
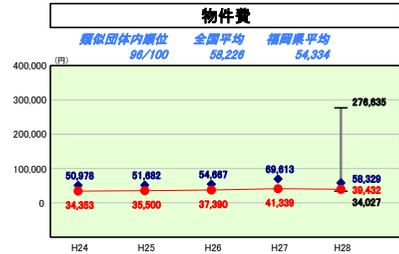
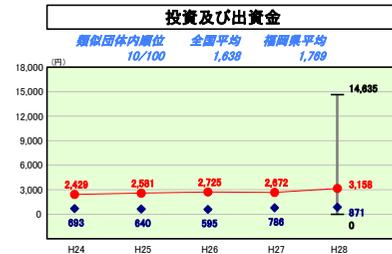
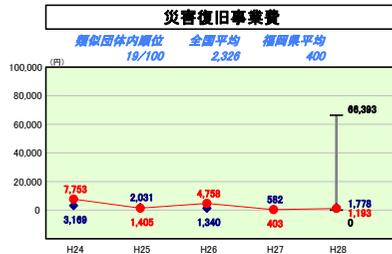
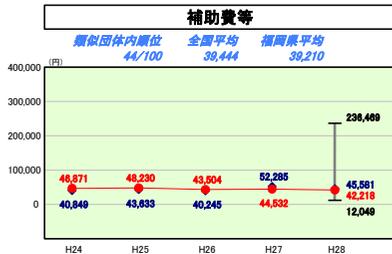
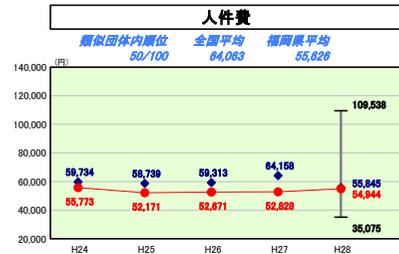
平成28年度

福岡県広川町

人口	19,882人 (H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	19,707人 (H29.1.1現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	37.94km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.3%
歳入総額	8,100,358千円	将来負担比率	0.4%
歳出総額	7,682,587千円	市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2
実質収支	373,682千円	(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2
標準財政規模	4,501,494千円		
地方債現在高	7,222,718千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

類似団体内平均値と比較して昨年度に引き続き普通建設事業費、扶助費について数値の乖離が目立つ。  
 普通建設事業費の主な要因は昨年度から継続している小学校改善事業、防災行政無線デジタル化整備事業等、施設の更新事業が集中したことによるもの。  
 扶助費の主な要因は障がい者支援、乳幼児等医療、学校就学支援等の増加によるもの。  
 今後も観光拠点施設建設、防災拠点施設建設、小学校屋内運動場改築、庁舎建設等多くの普通建設事業を予定しているため公共施設等総合管理計画に基づき計画的・効率的に更新費用の投資・平準化に努める。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

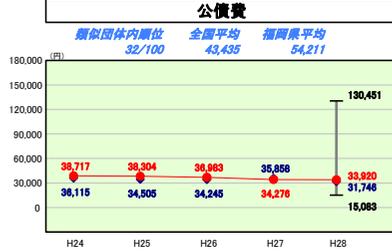
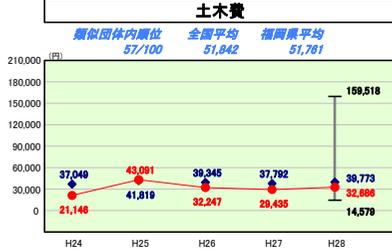
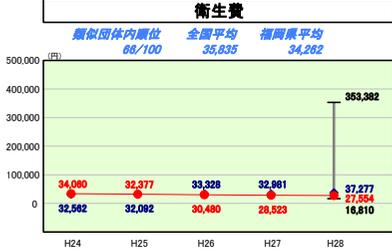
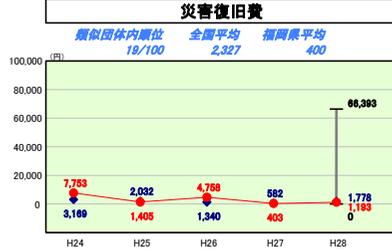
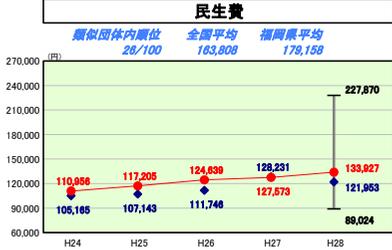
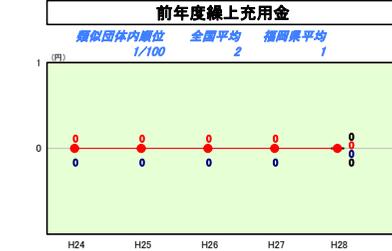
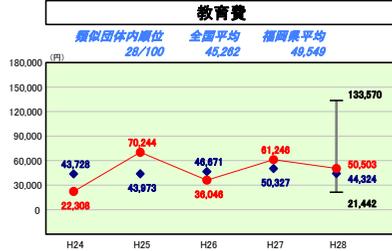
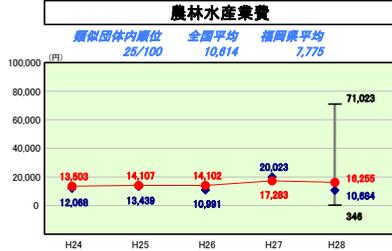
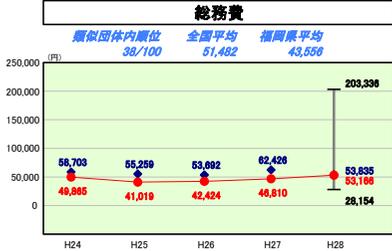
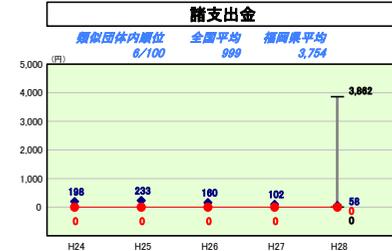
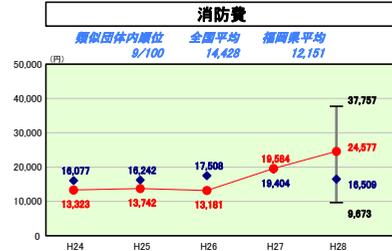
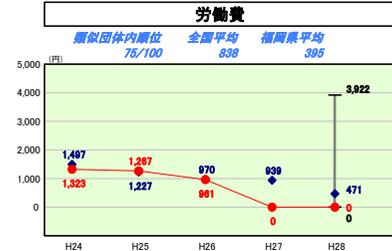
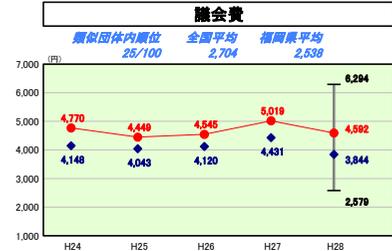
平成28年度

福岡県広川町

人口	19,882	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	19,707	人(H29.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	37.94	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.3	%
歳入総額	8,100,358	千円	将来負担比率	0.4	%
歳出総額	7,682,587	千円	市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2	
実質収支	373,682	千円	(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2	
標準財政規模	4,501,494	千円			
地方債現在高	7,222,718	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 目的別歳出の分析欄

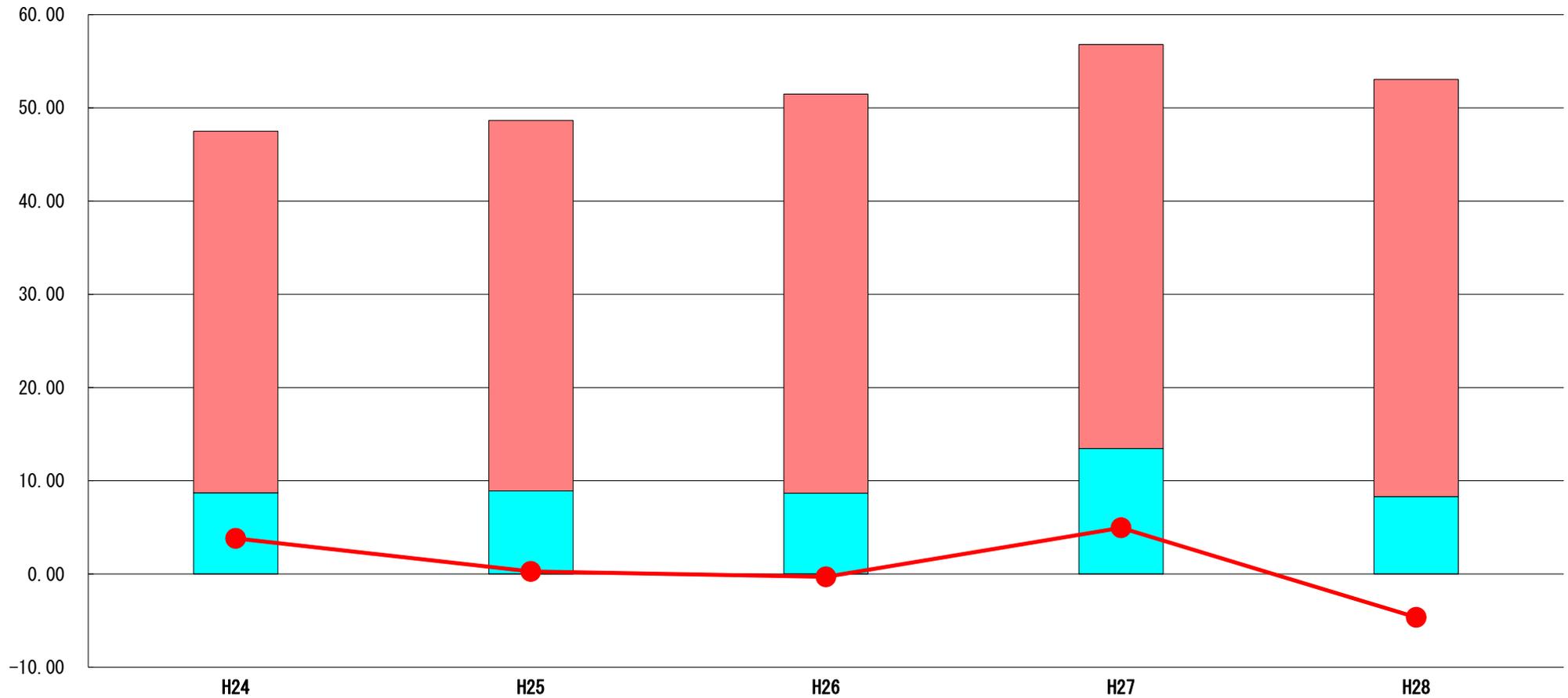
目的別歳出額で見ると民生費、消防費が類似団体内平均値の数値と比較し高水準にある。  
 民生費については障害者福祉、乳幼児等医療、学校就学支援等の増が主な要因となった。  
 消防費については防災行政無線デジタル化整備事業、消防ポンプ車の更新、防災拠点施設に係る造成事業、一部事務組合への負担金増が主な要因となった。  
 今後も中長期的に、実施事業の優先順位化、経常経費の抑制に努め財政健全化を継続していく。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成28年度

福岡県広川町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red; border:1px solid black;"></span> 財政調整基金残高		38.79	39.75	42.80	43.34	44.75
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:cyan; border:1px solid black;"></span> 実質収支額		8.71	8.91	8.68	13.46	8.30
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px solid red; border-radius:50%;"></span> 実質単年度収支		3.81	0.28	▲ 0.30	4.95	▲ 4.65

### 分析欄

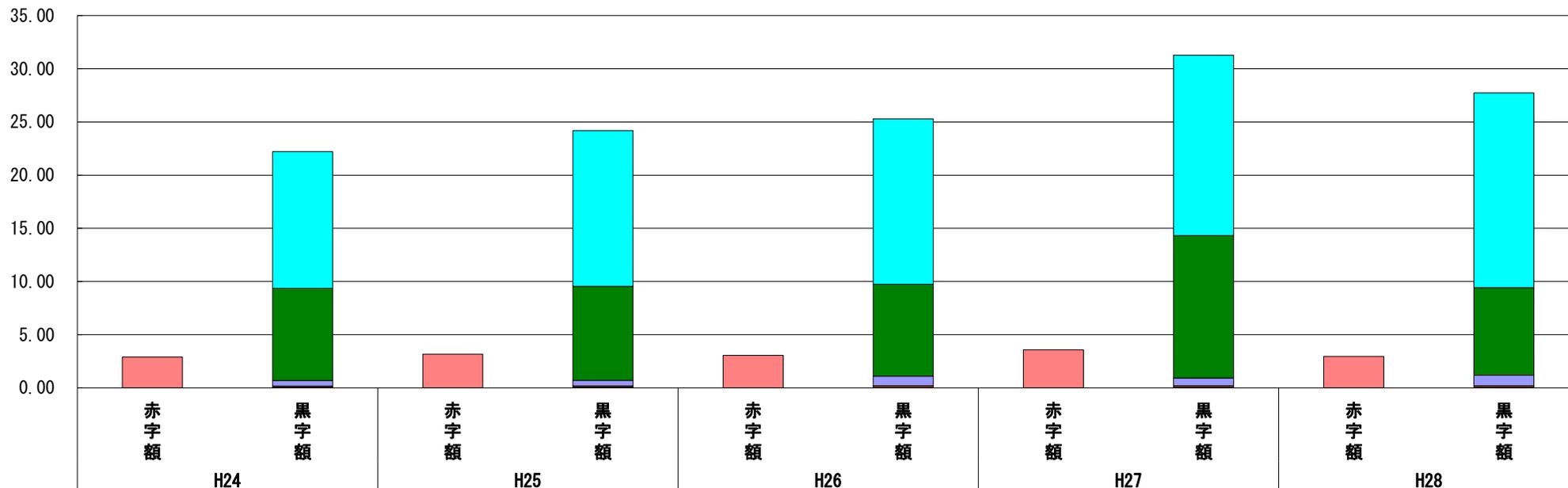
実質収支については3億7,368万円と黒字となっているものの、実質単年度収支については△2億2,750万円と、平成27年度の2億1,738万円から一転、赤字に転じた。  
 財政調整基金については、歳計剰余金処分による6,000万円を積み立てし、国債・県債の利息、売却益等により残高が20億円を超えたものの、資金不足時に一時的に繰り替えて運用するなど、依然安定しているとは言えない。  
 引き続き、財源確保については厳しい状況が続くと思われるため、基金

### (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成28年度

福岡県広川町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
国民健康保険特別会計		▲ 2.90	▲ 3.17	▲ 3.06	▲ 3.58	▲ 2.95
水道事業会計		12.86	14.65	15.56	16.94	18.32
一般会計		8.65	8.83	8.62	13.39	8.23
下水道事業特別会計		0.54	0.53	0.91	0.74	0.99
後期高齢者医療特別会計		0.11	0.11	0.15	0.14	0.14
住宅新築資金等貸付特別会計		0.03	0.05	0.00	0.02	0.03
広川防災ダム管理特別会計		0.02	0.02	0.04	0.03	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

#### 分析欄

町の会計のうち、国民健康保険特別会計以外については黒字となっている。国民健康保険特別会計の実質収支は前年度よりマイナス幅が少なくなったものの、赤字収支が継続している。今後も継続して疾病等の早期発見に向けた特定健診の推進、また、健康増進・予防事業に取り組む必要がある。水道事業会計については、これまでに整備してきた水道施設の老朽化に係る維持補修・更新が必要となるため、計画的に取り組んでいく。下水道事業特別会計については引き続き面整備にかかる高額な経費が見込まれるため計画的に実施していく必要があるが、一般会計からの繰出しや補てん無しでは継続できない状況にあるため引き続き効率的な財政運営を行う。

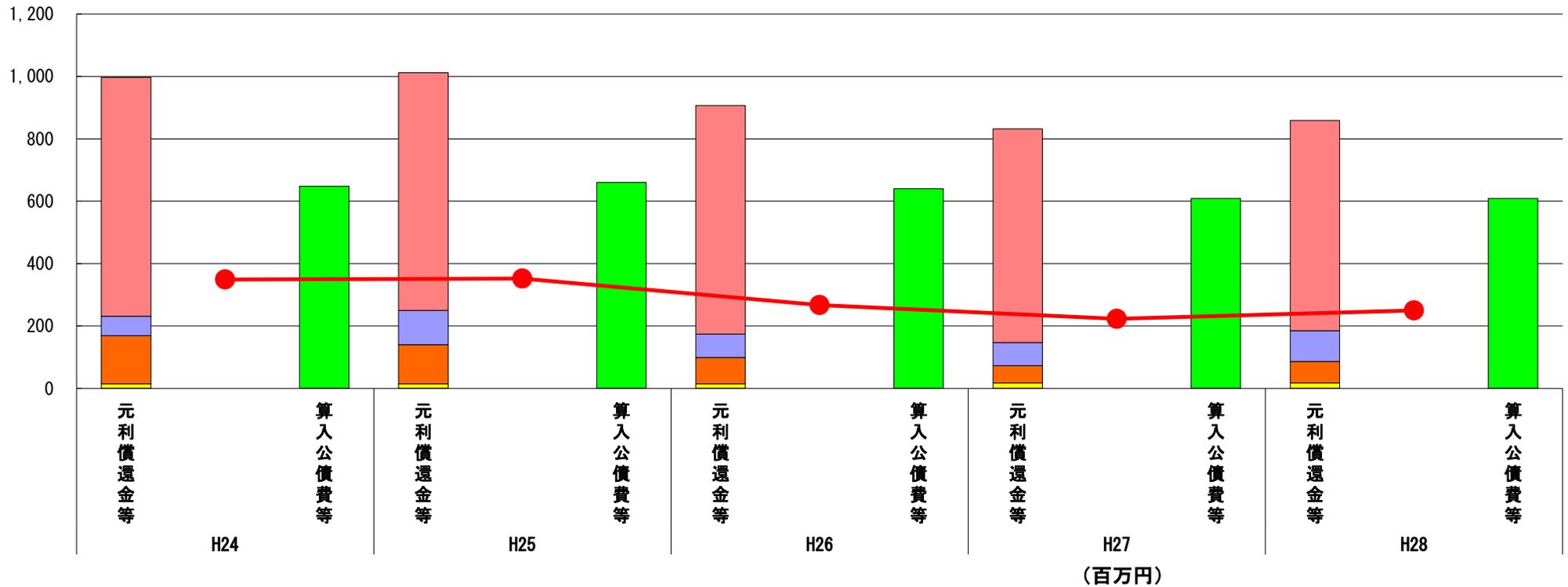
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

福岡県広川町

(百万円)



分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		766	762	733	685	674
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		62	110	75	74	99
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		155	126	85	56	69
	債務負担行為に基づく支出額		14	14	14	17	17
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		648	660	640	609	609
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		349	352	267	223	250

**分析欄**

実質公債費比率については徐々に改善してきたが、近年普通建設事業が集中したことが影響して下げ止まった。

全国的に公共施設の老朽化問題も深刻ななか、本町において今後、庁舎建設等膨大な費用の掛かる普通建設事業の計画があり実質公債費比率を上昇させる要因が控えている。

これまでに整備してきたインフラ施設も次々と更新時期を迎え財政運営に大きく影響してくると考えられるため、公共施設等総合管理計画に基づく中長期的な更新費用の平準化、それに伴う個別計画の策定、また、総合計画の目標を達成するために起債発行額の抑制に努める。

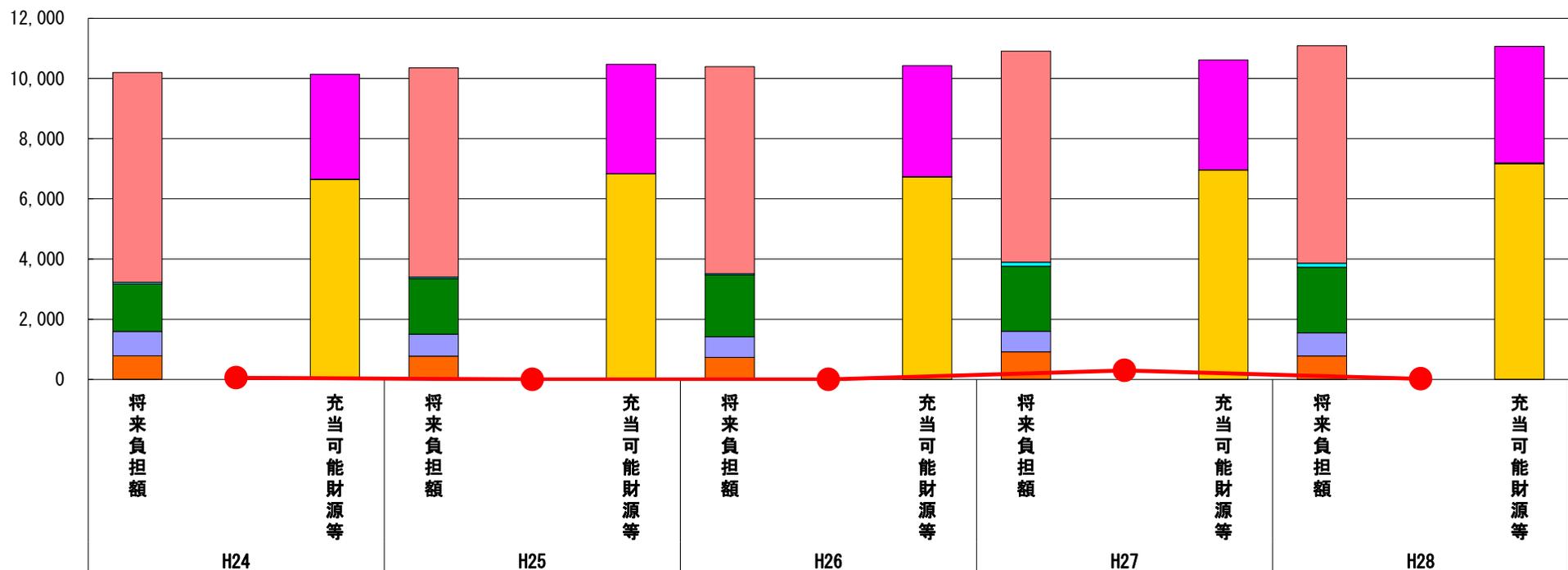
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

福岡県広川町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		6,970	6,951	6,879	7,017	7,223
	債務負担行為に基づく支出予定額		60	55	43	134	139
	公営企業債等繰入見込額		1,575	1,841	2,056	2,161	2,176
	組合等負担等見込額		809	729	682	680	768
	退職手当負担見込額		785	777	732	918	781
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		3,492	3,639	3,688	3,647	3,872
	充当可能特定歳入		11	6	5	5	29
	基準財政需要額算入見込額		6,641	6,830	6,731	6,961	7,166
(A) - (B)	将来負担比率の分子		55	▲ 122	▲ 32	298	19

## 分析欄

昨年度に引き続き普通建設事業の影響で、地方債の現在高は継続して増加した。また、国の補正予算等により前倒しで事業を実施しているが、将来負担を考慮し交付税措置のあるものに限定している。

今後も庁舎建設、小学校屋内運動場改築、観光拠点施設建設等多くの普通建設事業を予定しており将来負担には注視しておく必要がある。

そのほか、下水道事業も面整備を進めるなか、これまで整備してきたインフラ施設の更新が近い将来に財政運営に大きく影響してくることが考えられる。

基金運用を含めて、財源の確保等、計画的な財政運営、公共施設等総合管理計画に照らし合わせた計画的な施設管理が要求される。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成28年度

福岡県広川町

人口	19,882	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	19,707	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	37.94	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.3	%
歳入総額	8,100,356	千円	将来負担比率	0.4	%
歳出総額	7,662,587	千円	市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2	
実質収支	373,682	千円	(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2	
標準財政規模	4,501,494	千円			
地方債現在高	7,222,718	千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値

- ※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

<p><b>有形固定資産減価償却率</b></p> <p>有形固定資産減価償却率 [-]</p> <p>類似団体内順位 -/-</p> <p>全国平均 57.8</p> <p>福岡県平均 58.8</p> <p>固定資産台帳整備中・未整備</p> <p>有形固定資産減価償却率の分析欄</p>	<p><b>債務償還可能年数</b></p> <p>債務償還可能年数 [-]</p> <p>算出式精査中のため、出力対象外</p> <p>債務償還可能年数の分析欄</p>
--	---

## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移

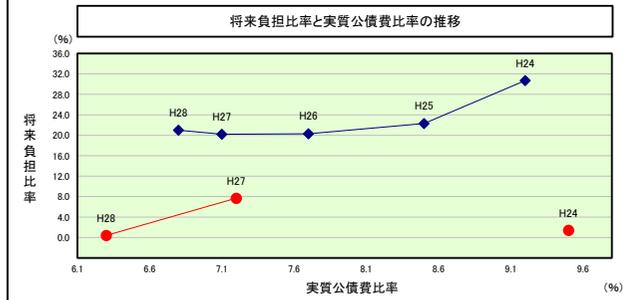
固定資産台帳整備中・未整備

分析欄

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/
類似団体内平均値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

類似団体と比較すると将来負担比率については低い水準を示しているが、実質公債費比率についてはほぼ同じ水準で推移している。近年続いた公立小学校建築、道路建設等の影響が将来的に負担となることは予想され、また今後も小学校屋内運動場、役場庁舎と建物建築事業は続く予定であるので財源確保、基金の活用等計画的な資金調達が必要である。さらには、今後老朽化する公共施設等の更新費用も増加することが考えられ、インフラ整備を含め、費用を平準化する等、公共施設総合管理計画に照らし合わせながら、これまで以上に中長期的に計画的な財政運営を行っていく必要がある。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	1.4	-	-	7.7	0.4
	実質公債費比率	9.5	9.2	8.4	7.2	6.3
類似団体内平均値	将来負担比率	30.7	22.3	20.3	20.2	21.0
	実質公債費比率	9.2	8.5	7.7	7.1	6.8

# (12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成28年度

福岡県広川町

人口	19,862	人 (H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	19,707	人 (H29.1.1現在)	通算実収赤字比率	-	%
面積	37.94	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	6.3	%
歳入総額	8,100,356	千円	将来負担比率	0.4	%
歳出総額	7,682,587	千円	市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2	
実収収支	378,882	千円	(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2	
標準財政規模	4,501,494	千円			
地方債残高	7,222,718	千円			

※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。  
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄

## (12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成28年度

福岡県広川町

人口	19,862	人 (H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	19,707	人 (H29.1.1現在)	通算実収赤字比率	-	%
面積	37.94	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	6.3	%
歳入総額	8,100,356	千円	将来負担比率	0.4	%
歳出総額	7,682,587	千円	市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2	
実収収支	378,882	千円	(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2	
標準財政規模	4,501,494	千円			
地方債残高	7,222,718	千円			

※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と書く。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄